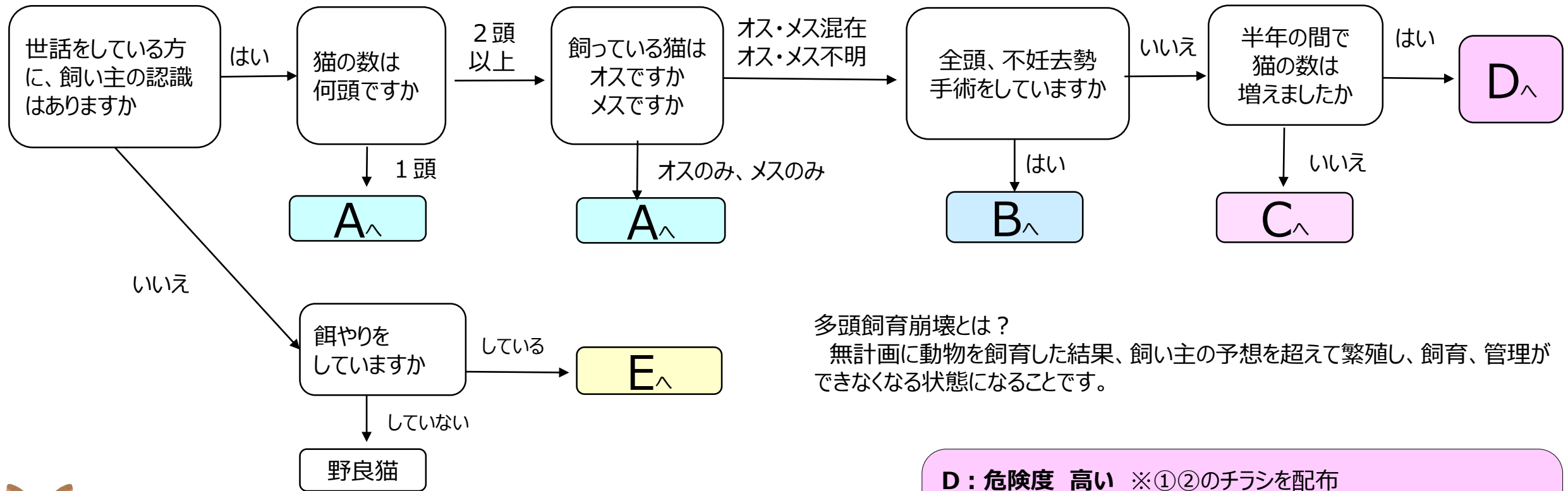


猫の多頭飼育危険度チェックフローチャート

このフローチャートを使い、多頭飼育危険度をチェックしてください。
多頭飼育崩壊となる前に、不妊去勢の必要性を啓発し、関係機関へ相談することが大切です。



多頭飼育崩壊とは？
無計画に動物を飼育した結果、飼い主の予想を超えて繁殖し、飼育、管理ができなくなる状態になることです。



A : 危険度 低い ※ 室内飼いでない場合は①のチラシを配布
不妊去勢手術をしていない場合は、外に出た時に妊娠する（させる）可能性があるため手術を勧めてください。



B : 危険度 低い ※ 室内飼いでない場合は①のチラシを配布
飼い主に万が一のことがあった時のために、一時預かり先や新しい飼い主を探しておくことで更に安心です。



C : 危険度 中～高い ※ ①②のチラシを配布
爆発的に増える可能性があるため、不妊去勢手術を勧めてください。定期的な見守りをお願いします。



D : 危険度 高い ※①②のチラシを配布
放っておくと多頭飼育崩壊につながります。不妊去勢手術を勧めるとともに、現状確認や飼い方指導が必要になるため、最寄りの保健所へご相談ください。



E : 危険度 高い ※③④のチラシを配布
放っておくと野良猫が爆発的に増える可能性があります。場合によっては、指導が必要になりますので、最寄りの保健所へご相談ください。

- ※ 配布いただくチラシの種類
- ①猫は室内で飼おう！
 - ②不妊・去勢手術をして飼いましょう
 - ③無責任に餌をあげるのはやめましょう
 - ④ご存知ですか？地域ねこ活動